

各 位

2019 年 10 月 18 日
エーザイ株式会社

世界経済フォーラムにストラテジック・パートナー・アソシエイトとして参画

エーザイ株式会社は、このたび、世界経済フォーラム（本部：スイス・ジュネーブ）にストラテジック・パートナー・アソシエイトとして参画したことをお知らせします。

世界経済フォーラムは、1971 年にスイスの経済学者クラウス・シュワブ教授によって設立されました。ビジネス、政治、経済、学界をはじめとする多様な分野のリーダーたちが協力し合い、グローバル、地域、そして産業などさまざまな課題について議論し、その解決に取り組んでいる非営利の国際機関です。毎年 1 月にスイスで開催される年次総会「World Economic Forum Annual Meeting（ダボス会議）」をはじめ、様々な取り組みが展開されています。

世界経済フォーラムのストラテジック・パートナー・アソシエイトには、世界の主要な企業が参画しており、産業、地域、およびさまざまな体系的課題に対する未来形成に積極的に取り組んでいます。世界経済フォーラムの持つシステムイニシアチブ、地域、またはコミュニティへの参加や、グローバルなネットワークおよび専門家へのアクセスが可能となることで、業界内および業界間において最も重要な課題について戦略的な意思決定に参画することができます。

当社は、第四次産業革命に関する新規テクノロジーのガバナンスギャップを解消するための拠点として設立された世界経済フォーラム第四次産業革命センター（本部：米国サンフランシスコ）の姉妹拠点である第四次産業革命日本センター（本部：東京都）に、2018 年 12 月より参画しています。さらに今後は、世界経済フォーラムのストラテジック・パートナー・アソシエイトとして、ヘルスケア、データ、IoT およびデジタルセキュリティに関するプラットフォームに参画し、さらなるネットワーク拡大や新たなパートナーシップ機会の活用を目指します。

当社は、中期経営計画「EWAY 2025」において、AI、リアルワールドデータを含むビッグデータの解析をはじめ、様々なデジタル化の取り組みを行っています。特に、認知症領域では、当社が有する認知症に関する経験、ノウハウ、各種データやネットワークなどから構成される「エーザイ認知症プラットフォーム」を基盤として、認知症当事者とそのご家族の声をもとに、製薬企業のほか、行政、医療機関、介護施設、診断薬開発企業、IT 企業、保険会社などのパートナーが連携し、課題解決を図ることを可能とする「認知症エコシステム」の構築を進めています。世界経済フォーラムのストラテジック・パートナー・アソシエイトへの参画により、様々なパートナーとの連携をより一層強め、認知症領域等におけるエコシステムの構築を通じて、well-being の実現に貢献してまいります。

以 上